

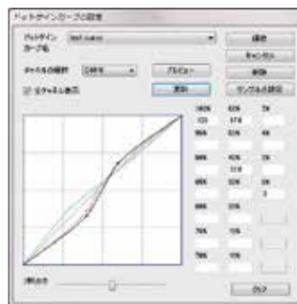
6 | 直感的な操作性で版面設計が可能

このソフトウェアだけで版面設計が可能です

台座、アクセサリなどの設定をテンプレートとして保存しておき、同じような面付けの場合に利用できます。多くの3D合成ソフトに対応しており、ホットフォルダに入れるだけで画像をレンズ位置に自動的に合わせます。バックグラウンド処理によって、複数の処理を予約して実行できます。ドットゲインカーブの調整やアクセサリなど、版面設計に必要な機能がすべて揃っています。レンチキュラー印刷に必要な各種マーカーを自由に設定できます。



メイン画面



ドットゲインカーブ設定画面



バックグラウンド処理状況画面



台座設定画面

主な仕様

製品の種類	Standard Edition	Premium Edition
出力線数	2400DPI、2540DPI、4000DPI、5080 時 10 線きざみ最大 AM500 線	2400DPI、2540DPI 時 10 線きざみ最大 AM600 線 4000DPI、4800DPI、5080DPI、9600DPI(VMR モード)、 10160DPI(VMR モード) 時 10 線きざみ最大 AM1000 線
入力画像	3D 合成ソフトの出力画像 (CMYK、TIFF) 最大 2Gbyte	
対応合成ソフト	Easy Lenti Studio、HumanEyes、Power Illusion、その他の 3D 合成ソフト	
最大版サイズ	1200×900mm	
最大レンズサイズ	1200×900mm	
推奨動作環境	CPU Intel Core i5 以上推奨 メモリ 4GB 以上推奨 ハードディスク 500GB 以上推奨 OS Microsoft Windows 7/8.1/10 64bit 版推奨 表示画素数 1920×1080 以上推奨	



高品質レンチキュラー印刷

- ・自動ピッチ合わせ
- ・超高細線 1000 線まで
- ・色見当補正
- ・縞の除去

お問い合わせ・ご注文

開発元

株式会社 立体技研 RittaiGiken, Inc.

〒111-0055 東京都台東区三筋 2 丁目 10-12 青山ビル 3 階
 TEL 03-5823-4850 FAX 03-5823-4950
<http://www.rittaigiken.co.jp>
info@rittaigiken.co.jp



LentiDotManager

レンチドットマネージャー

Ver.2.2

写真が飛び出すレンチキュラー印刷。 オドロキの立体的な印刷を、 かんたん、キレイに作れます。

「Lenti Dot Manager」は、レンチキュラー印刷を簡単に行えるよう開発されたレンチキュラー印刷専用ソフトCTPワークフローです。「Lenti Dot Manager」だけの6つの特徴を持ち、不良を低減し生産性を高めます。最小限の設備で高品質のレンチキュラー印刷が簡単に制作出来るようになります。



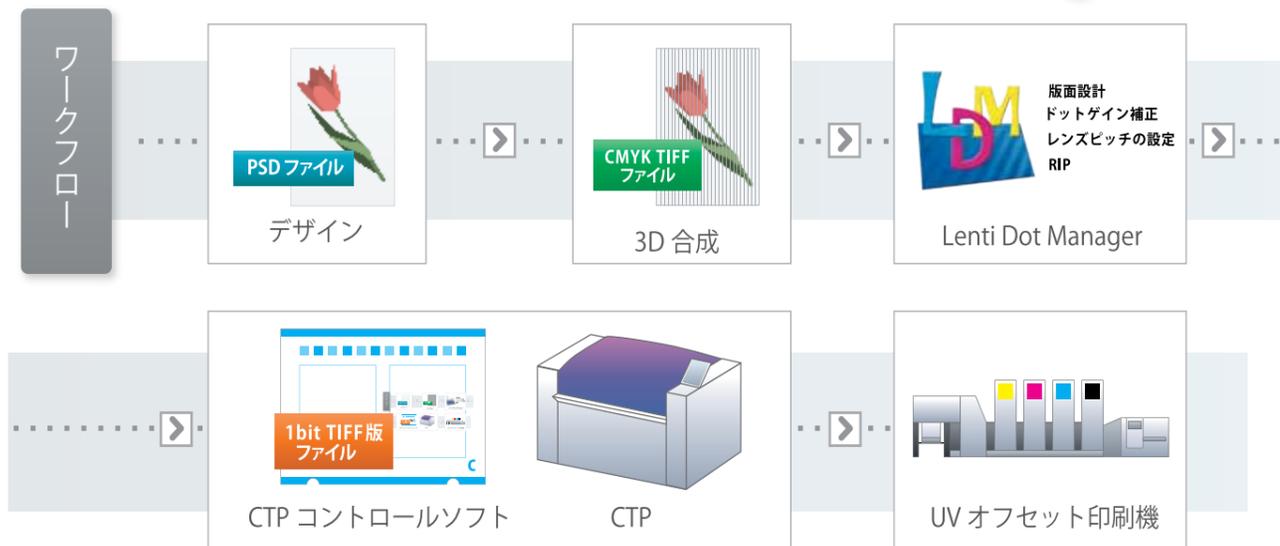
かんたん、キレイを実現する6つの特徴

- 簡単操作
- 精密な位置合わせ
- 高品質印刷
- スパイラル補正網除去
- 縞モアレの低減
- 直感的な版面設計

1 操作が簡単！

最小限の設備・知識でレンチキュラー印刷が可能に

UV印刷機をお持ちであれば、すぐにレンチキュラー印刷を始める事ができます。特殊な設備、特殊な知識は不要です。このソフトはハード的な問題をソフト的に解決します。通常の面付けソフトのように各データの位置を指定し、そこに使う画像を流し込みます。最後にレンズズピッチを入力すると、伸縮したレンズの目に合った1bitTiffデータを生成します。



2 レンチキュラーレンズと3D合成画像の精密な位置合わせ

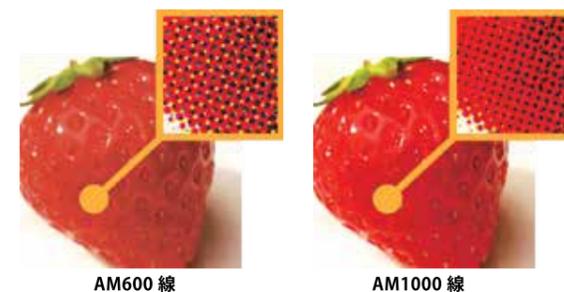
- 3D画像合成ソフトで生成された画像のマーカを検出してレンズの目にあつた位置に自動調整します
- 台形補正により印刷機によるファンアウトの影響、補正しきれない色見当のズレを除去します
- Lenti Dot Manager 独自の方法により正確なピッチの計測が可能です
- スパイラル露光によって発生する傾きを補正します



3 CTPの解像度を最大限に引き出す超高細線出力

深みのある高品質なレンチキュラー印刷

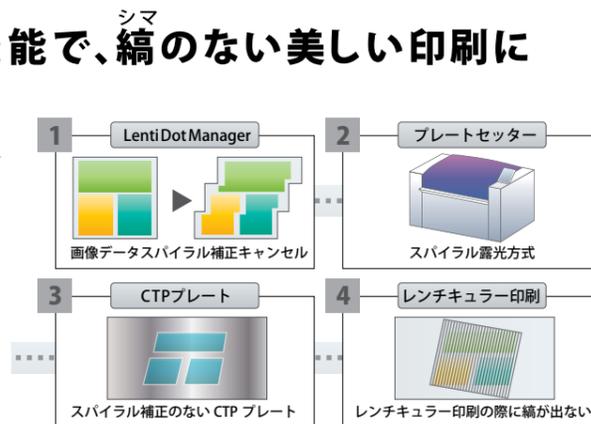
2400DPIでAM500線、4000DPIで1000線までの高精細の網点を生成することができます。これにより深みのある3D印刷を実現出来ます。網点はレンチキュラーに合わせて設計されていますので、画像の切り替わり時に縞が発生しないうっきりとした印刷が可能です。網点は通常の画像も扱うことができるので裏面印刷などに利用できます。



4 スパイラル補正キャンセル機能で、縞のない美しい印刷に

縞を取り除き、クワエに垂直なレンズでの印刷が可能

スパイラル露光方式のセッターでは、スパイラル補正機能によりレンズの目に垂直な等間隔の縞が発生します。縞のないレンチキュラー印刷を行うには、クワエに水平なレンズを用いるか、縞の発生しない機種を使用するかを選択肢のみでした。Lenti Dot Managerでは、1bitTIFFデータにこの補正をキャンセルする処理を行うことで縞を取り除き、現在ご使用のセッターで美しいレンチキュラー印刷が可能です。



5 レンチキュラー印刷で発生しやすい、縞モアレを低減

- 切り替わり時に発生する縞を除去する独自の網点を生成します
- 1度単位で網角を調整でき、色々な網角を一度に面付けして比較が可能です

